

# 「なごや東山の森づくりの会」定例会報告 2012.12.5 (水谷)

日時 2012年12月2日(日) 10:00~13:30 天候: 薄曇り後小雨  
活動場所 くらしの森  
作業 大坂池周辺の郷土種子活着(根付いたかどうか)を確認、非活着苗を取り除き、雑草刈り、並びに竹杭による植え替えゾーンの明確化  
集合場所 里山の家  
参加者 会員37名(内子供4名) 一般1名 計38名

- 実質的にはこの冬一番の寒い日、最低気温は1度、最高気温が9度となりましたが、参加者は子供4人を含め38名と最近では9月以来の30人越えとなりました。
- 現場で滝川さんから身振り手振りを入れての作業説明があり、早速池の周りに散って作業を開始しました。足の踏み場もない程の雑草をかきわけ進むとすぐにアレチヌスビトハギが御出迎え、軍手の先から上着、ズボンにとびっしりくっつかれました。皆さん、すぐ諦めて、まず苗らしきものを探し出し、それが生きている(活着した)ものかどうかを枝を折って判別、枯れたものは抜き取り抑えの塩ビシートや金具を取り去る作業。そして生きている苗木に対しては周辺2m四方の草を刈る作業に勤しみました。作業中は寒さもさほど気になりませんでした。
- 活着した苗は88本、取り除いた苗は15本ほどで、午後は生きている苗のそばに竹杭を打ちマーキング。苗がつかないゾーンは土を入れ替え再植林の予定です。
- マーキングを終えたところで小雨が降り出したので本日の作業は13時半に終了となりました。



説明を聞き雑草の茂みへ。やっと88本の生きた苗が選別されました。



クッツキ虫対策。つるつとした化成品の衣類がベスト。高い安いは関係ありません。(失礼)

御存じモズの早贄(はやにえ)です。犠牲者はカエル

今日除いた非活着の苗(15本)です(右)

